# Lab 1 – 練習 3データ移行のテクノロジ

## シナリオ A

お客様は Microsoft SQL Server 2008 のオンプレミス バージョンに格納されている多くのデータベースを使用するアプリケーションを利用しています。データベースの占有領域の合計は 12TB で、そのサイズは毎年テラバイト単位で顕著に拡大しています。また、このアプリケーションは、SQL Server Reporting Services のレポート機能と緊密に統合されています。データベースが格納されている既存の SAN ストレージの容量は、その上限に近付いていて、拡張にはコストがかかり、その耐用期間も終わりに近付いています。会社にとって、このアプリケーションは重要な役割を担っており、ある程度のトランザクション速度があり、ダウンタイムが発生すると業務に大きな影響を及ぼします。アプリケーションの可用性を最大化するための変更を加えるために、短時間の保守時間枠が設けられています。この急速な成長に伴い、すべての作業を実行するために、DBA およびシステム管理者による作業時間はさらに増大しています。

**回答**

SQL Server on Virtual Machine

SQL Server Reporting Services と一緒にアプリケーションを実行するという依存性があります。これにより、Azure SQL Database はレポート サービスをサポートしないため、除外されます。また、このデータべース サイズは、Azure Database マネージ インスタンスの容量の上限を超えています。

## シナリオ B

この例のお客様は、部門のニーズを満たすデータベースを格納する SQL Server を使用しています。データベースがホストしているサーバーは、クアッド コア サーバーで、16GB メモリーを搭載し、スプレッドシートや Access フォームへのシンプルなデータ アクセスへのバックエンドとして使用されています。合計 350 MB を占める 6 個のデータベースがあります。このサーバーのコンカレント接続の最大数は 12 です。

**回答**

シングル データベース モードでの Azure SQL Database

シングル データベース モードの Azure SQL Database は、その要件を満たし、コストを軽減します。エラスティック プール モードでも Azure SQL Database を使用できますが、コストはより高くなります。サーバーのサイズが小さく、不安定さを抑えることを考慮すると、エラスティック プールの使用は必要ありません。